

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
交通の発達は何をもたらしただか		第3章④ P. 50～53	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	2年生地理的分野

1. 教材のねらいと概要

交通網の発達は、山梨県に何をもたらしただか、さらに近い未来、何をもたらしただかについて考えさせたい。また、交通網は自然環境、政治、文化、人口、産業といった事象とかかわっていることに気付かせたい。教材の概要としては、山梨県の主な交通を過去(古代・戦国時代・近世別)、現在、未来別に整理し解説している。また主な交通路を地図上に示し、過去と現在の交通路を比べられるよう同縮尺の山梨県の地図を掲載している。

2. 活用例

教科名等	社会科	単元(題材)名等	日本の気候・日本の自然災害
活用場面	活用のポイント		時間
中部地方の学習で課題設定の場面で活用する。	①交通網の発達による人やモノの交流が、山梨県の産業の発展や人々の生活や文化を支えていることに気付かせる。具体的には古代の古道が都と結ばれていたことで中央の文化(古墳)が広まったことや中央線や中央道の開通が果樹栽培を進展させたことに気付かせる。②「交通網の発達は山梨県を含む中部地方において何をもたらしただか、また、今後どのような変化をもたらしただか」といった本単元を通した課題を提示し、今後の中部地方の学習を行っていく(ここまてが本時の流れ)。③これ以降の授業では、交通網の発達の視点を主眼に置いて他の視点(産業、人口、環境など)とどのように関連しているのかを動態地誌的に学習していく。最終的には、「リニアの開通で山梨はどう変わるか」といった課題解決することで、交通網の発達によるメリットとデメリットについてまとめさせる。		50分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答例

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 50	山梨県が昔、甲斐の国と呼ばれたのはなぜだろう。何か古道と関係があるのかな。	私たちの生活において交通網の果たす役割は大きく、山梨県も昔から交通の発達とともに発展してきたことに気付かせたい。	古くから山梨の路は2つの重要な官道である東山道と東海道をつなぐ路であり、様々な文物や人々が行き交う場所であったことから「交い」が語源で「甲斐」となったと考えられている。
P. 51	古道は甲斐とどこを結ぶためにつくられたのだろう。	その時々々の政治の中心地と結ぶために路が整備されたことに気付かせたい。	古代は都(平城京・平安京)と結ばれ、また、近世は江戸と結ばれており、山梨と当時の政治の中心地とを結ぶために作られた。また、戦の場所を結ぶためにつくられた路もある。
P. 51	古道は山梨に何をもたらしただか。	交通網の利用目的はモノと人の移動に用いられてきたことに気付かせたい。	税や物資を都に輸送したり、参勤交代による人の移動に用いられた。また、戦の際に迅速に移動する目的で用いられた路もある。
P. 52	中央本線が、勝沼ぶどう郷駅から石和温泉駅にかけて曲がっているのはなぜかな。	地図を見ることでなんでだろうという素朴な疑問を持つ気持ちを大切にさせたい。	政治の力で塩山や山梨市を通したとも言われているが、勝沼から直接、甲府盆地に線路をつくり、甲府へ直線的にしてしまうと傾斜がきつくなり、蒸気機関車だとのぼることができなかったためと言われている。
P. 53	明治44年と平成6年の甲府―新宿間の平均時速の差はどのくらいあるのかしら。	資料を活用して、時速の計算する方法も身につけさせたい。	明治44年は124km÷5時間40分で約21.9km/時、同様に平成6年は約91km/時。
P. 53	超電導リニアとはどんなしくみなんだらう。	先端技術について疑問を持ち、調べてみたいという気持ちを持たせたい。	超電導を利用した世界に誇る日本独自の先端技術。車両に搭載した超電導磁石と地上に取り付けられたコイルとの間の磁力によって非接触で走行する。
P. 53	過去・現在の交通の様子を比較して、地形や人口、産業分布という面で気がついたことをまとめてみましょう。	過去も現在も交通路になるところが同じであることに気付かせたい。なぜそうなるのかという問いを持たせたい。	地形という視点で見ると河川(沢)に沿って交通網が発達している。人口という視点では人口の多い地域と地域を結んでいる。
P. 53	中央本線とリニア中央新幹線が通っているルートはなぜ違うのか、考えてみましょう。	リニア中央新幹線のルートは中央本線や今までの交通網とは明らかに異なっていることに気付かせたい。そしてそれがなぜなのかという問いを持たせたい。	中央本線は山梨県内の人口の多い都市を結んでいるものであるが、リニア中央新幹線は、東京と名古屋、大阪といった大都市を最短ルートで結ぶことを目的につくられるため。
P. 53	道路や鉄道が新たに開通するとどのようなメリットとデメリットが生まれるのでしょうか、考えてみましょう。	新しく鉄道や道路が開通するということは一見メリットに思われるが、デメリットも生まれることに気付かせたい。	メリットは短時間で目的地へ行くことができたり、渋滞の緩和、観光客の増加が見込まれる点である。デメリットとしては、新しい交通路によってかわられた沿線地域の衰退や、ストロー現象による、産業や人口の都市部への流出が考えられる。

4. 写真・資料の補説

(1) 甲斐の古道 P. 50

古道が通っているルートと自然環境の様子(山脈や河川)に着目したい。

(2) 現在の交通の様子 P. 52

P. 50とP. 52を比較して交通網が過去と現在では異なることに着目させたい。また、都市と交通網の関わりに着目させたい。さらには、リニア中央新幹線は今までの交通網とは異なり、南アルプスを貫いていることに気付かせ、それはなぜなのかをP. 53の地図を参考に考えさせたい。

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
歴史の道ガイドブック		山梨県教育委員会	1998
甲斐の道		国土交通省関東地方整備局	
甲州街道		建設省関東地方建設局	1993
ふるさと山梨		山梨県教育委員会	2008
関連施設名	住所	電話	
山梨県立博物館	〒406-0801 笛吹市御坂町成田1501-1	055-261-2631	
山梨県立リニア見学センター	〒402-0006 都留市小形山2381	0554-45-8121	